

2023年 3月30日

京成電鉄株式会社

千葉県内の太陽光発電など 再生可能エネルギー100%で CO₂排出量実質ゼロのスカイライナーを運行します！ カーボンニュートラルで、旅まで高速エスコート

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林敏也)は、2023年4月1日(土)より、スカイライナーの運行にかかる電力相当を、再生可能エネルギー由来の環境価値を活用することで、スカイライナーの運行にかかるCO₂排出量実質ゼロを実現します。

京成グループでは、2016年2月に千葉市緑区(千原線ちはら台駅北側)に京成電鉄ちはら台太陽光発電所を設置するなど、地球温暖化対策に取り組んでまいりました。

この度は、スカイライナーの運行に係る電力相当について、東京電力エナジーパートナー(株)の電力供給プランを使用し、京成電鉄ちはら台太陽光発電所を含む千葉県内の再生可能エネルギー由来のトラッキング付FIT非化石証書を用いることで、スカイライナーの運行に係るCO₂排出量を実質ゼロとするものです。この取り組みにより、年間約9,000トンのCO₂排出量を削減できる見込みです。

長期経営計画「Dプラン」では、重点施策として「エコロジカルなまちづくりの推進」を掲げ、CO₂排出量を2030年度までに2013年度比で46%削減、2050年度までに実質ゼロ(=カーボンニュートラル)を目指しており、今後もカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを推進してまいります。



SGET 千葉ニュータウンメガソーラーの
横を走行するスカイライナー



京成電鉄ちはら台太陽光発電所

本件の詳細は次頁の通りです。

CO₂ 排出量実質ゼロのスカイライナー運行について

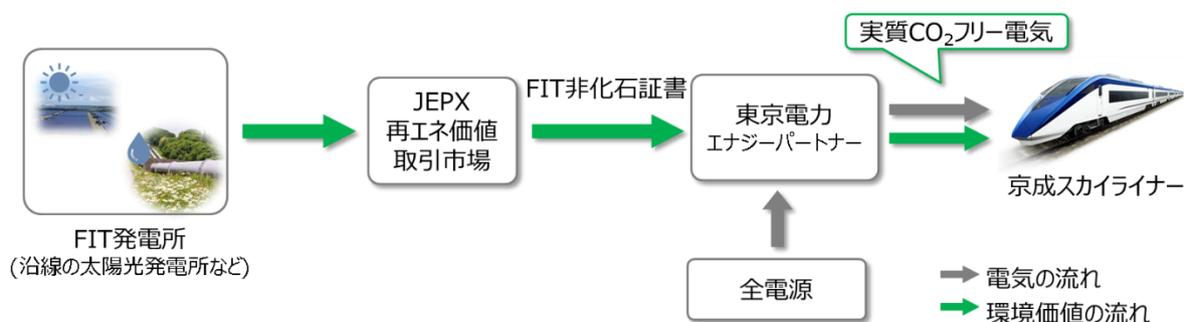
1. 対象列車

スカイライナー全便

2. 仕組み

スカイライナーの運行に係る電力相当について、東京電力エナジーパートナー(株)の電力供給プランを使用し、トラッキング付FIT非化石証書(※)を用いることで、沿線エリアにおける太陽光発電をはじめとした千葉県内の再生可能エネルギー由来の電力へ実質的に置き換えます。

※トラッキング付FIT非化石証書とは、固定買取価格制度(FIT 制度)の適用を受けた電源の発電量から環境価値を取り出して証書化したものに、特定の電源種(再生可能エネルギー)や発電所所在地などの付加価値的な属性情報を紐づけたものです。



<トラッキング付FIT非化石証書で指定した発電所 (2023年度分)>

- ①京成電鉄ちはら台太陽光発電所 (京成ソーラーパワー株式会社)
- ②SGET千葉ニュータウンメガソーラー(SGET千葉ニュータウンメガソーラー合同会社)
- ③よみうりランド船橋競馬場太陽光発電所 (株式会社よみうりランド)
- ④株式会社レクスポーツ袖ヶ浦太陽電池発電所 (株式会社レクスポーツ)

3. CO₂排出削減量

年間約9,000トン

4. 運行開始日

2023年4月1日(土)

5. お客様のお問合せ

京成お客様ダイヤル 0570—081—160(ナビダイヤル)

音声ガイダンスに従い【2番】を選択してください。≪受付時間 9:00~18:00≫

以上